

梗概の説明

四月、五月、六月

一、衣類の要求と供給。

食料の供給に關した職業が暗示的玩具を、いごぐちに始められるように、衣類の職業は人形と人形遊びによつて、は入り得る。人形遊びには、本當の衣類の材料で作つた着物を要す人形、或は紙人形、又兩種類の人形も使用されるが兎に角子供の心を強く惹く問題は一である。

最初の必要は材料である。子供達は自分でそれを買ひに行く、次には裁ち方と仕立方である。

衣類を仕立るといふことが再び種々な商店——そこには材料ばかりでなく出來合の服もある——を暗示する。周圍の情況と場合に從つて百貨商や當物屋でもよい。

遊びと職業は子供達を織物の多くの種類に接觸させる。或子供にとつては其の興味は、毛や木綿の原料や又原料から織物に轉換する方法の方へ向けられ

る。之等の方法は、子供の經驗が判斷出來ない様な題目を幼稚園案の中に屢々含ませる事があるほど教師にとつては非常に興味あるものである。衣類に關する職業は附隨の意義として季節の戶外生活に關係を持つ。主題が春の日程の内である時には木綿の衣服や麥藁帽や日傘や日除帽の必要が強められる。又冬であるならば重い外套、帽子、指無手袋、手袋、や脚絆が準備される必要がある。どちらの場合にも、人の必要を充たす要素として、商人は特に興味あり重要な人である。

二、社交活動と興味。

一年中のどの季節よりも一番子供達が戶外に出られる時即ち晩春と初夏を通じて日程の主要なる興味は此の季節に關係ある活動と興味から選ばなければならぬ。

遊園と公園は夏の準備をする。他にも暗示した様に遊園或は小公園は社會生活の興味を目的とした仕事の最後の計畫である。

春先きは、窓ぎはの箱に植えた球根や蒔いた種に

日のあつた結果が注意される。規定に従て遠足が計畫されそれによつて子供達は草や木の芽や早咲きの野の花に表れる様な新生の兆を發見する。之等に於ける興味、詩や言語と同様に繪畫や剪紙によつて獎勵される。

鳥が歸て來る事に特別な注意をする事が必要であるとして其の土地特産の鳥を容易に認める事を助ける様に畫く事や會話や繪等で努力される。又子供達は學校の庭に鳥の爲に浴室（おふろ）を造てそれに水を一ぱいにして置く。戸外の經驗は構成の原動力を充たす。

麥藁帽子や日除帽子は太陽の暑さ除けの爲に子供達に必要と爲り、花を摘み集める爲に籠が必要になり摘んだ花をいける爲に土の花瓶や鉢が必要になる。

年長兒が石彈や獨樂や凧を持って遊ぶ様に小さい子供達はそれと同じ玩具と同じ様な種類のもを風立つた晴れた日に持て遊ぶ爲に製る。

自然物、自然現象に附帶した之等の經驗に附加へて動物の世話をしたり。保護をしたりする活動が續けられる。幼稚園時代の子供は園藝といふ事をあまり深く爲るには年少すぎる。しかし彼等は或る草花や早く成熟する野菜の種を蒔く機會は持て居る。種

子は子供達に造られたり飾られたりした鉢や壺や函に蒔かれ所有の本能によつて興味を持ちつゞけるようにされる。その上實際の小さい鉢の植物の成長は、比較的離れた運動場に、生えるよりも一層明らかである。

それで春は種子を蒔き秋は球根を植えるといふ事は室の内外共に價値ある事である。五月に植えた大根とチンヤ菜は六月學校が終る頃には收穫される。之等又其他の種子類は秋のはじめに取り集められる。適當な教師の監督の下にある學校所屬の園庭がある場合には幼稚園の子供達は植物を植えたり世話をしたりする手助けが出来る。

その習慣に興味ある動物で我々の學校の教室近くで容易に世話の出来るのは金魚、カナリヤ、鳩、兎と雌鶏と雛鳥である。幼稚園の教師が雛鳥を増す事に成功したといふ事には多くの實例がある。或學校では母鶏と、かへす卵は教室の中へ持て來られた、そして子供達は樽の中の糞を裏返へして巢を造り、そこへ卵をならべて、母鶏が巢に就いてゐる間中毎日母鶏に餌を與へた。卵がかへる時に子供達の或ものは殻から出て來る可愛い雛を實際に見る。或る朝子

供達は殻の中の雛がピー／＼いふのを聞いた、全部がかへつてから子供達は大きな木片で遊び場を造る。母鶏と雛鳥は數週間教室の中に置かれ子供達はそれに必要な世話をする。その後外のとやに入られる。やがて母鶏は又卵を生む。それ等は其の年の閉會のお集りの時に子供達が彼等のお母さん達に、チンヤ菜や卵のサンドウキッチや大根で御馳走をする時に使はれる、その大根やチンヤ菜は子供達が自分の庭から取りあつめたものである。

かように二三の動物の生活の形式を親しく知らせる機會は子供達にとつて單に數多くの種々の動物を紹介するよりも大切な事である——勿論種類や數の必要も怠つてはならないが——。

メイデイ、イースター、の如き季節の祭禮は特種な風潮として認められるべきである。春のはじめにイースターが來て以來それに就いての連想は、新生といふ事である。此の季節は期待の季節である。

メイデイは、聖バレンティンの様に、おどろかせる時である。其の日は近隣の人達や友達を樂ませる爲に祝はるべきである。お隣の戸口に花籠をさげるといふ古來の習慣は永續させてよい習慣の一つであ

る。その爲に教室の戸口にも他の家の戸口と同じ様にされる。

効果

効果は學期に於ける日程の種々の活動——手工、言語、繪畫、遠足等——によつて廣く實現されてゐるので之等の種々の活動から切り離して説明する事は、漠然とした言葉以外には困難な事である。次に概説せらるゝ様な一年の仕事は子供に對する價値に基かねばならぬ。

1、態度、興味、趣味。

之等の自然環境及社會の形勢に於てもつと廣く、もつと智識的な興味は要目の内容に含まれて居る。新しい經驗に對する熱心な受身の態度は、新しい興味の發展を結果として來す。

2、習慣、熟練。

經驗を説明し或は組織立てる爲の能力を増進した事。自己を社會の狀態に適合させる能力を増進した事。述べられた思想と實行の連續に集中する能力に依て示された注意力の増進した事。

3、學識、斷片的な智識。

家庭、近隣の活動及注意される自然物と自然現象

に關した重要な資料。
之等の活動の或物に含まれた道德價値と社會關係
の實現。

第三章

製作

材料を以て試みようとする衝動は幼年初期時代の最も強い衝動である。其の衝動は初めは、材料や目的物をなぐさみに弄ぶといふ形で表現される。各材料が其の性質に従つて暗示を與へるので子供達はそれに依て各々の特別な物や材料に就いての更に進歩した可能性や特質を發見する。子供達はまもなく、自分の考を發表し、目的物を造る爲に材料を使用しはじめる。

一般標的

環境を支配する事から來る力の感じを鼓舞する爲め。目的に向ての根氣と豊富な工夫と能力とを増進する爲め。

周圍を支配する方法及び理解の方法と經過を與へる爲め。

特種標的

材料を試る事に依て子供の實驗しようとする希みを満足させ、かくして彼等の所有物に親しみます爲。藝術、工業の初歩へと、子供達を助け進みます爲。共同の目的の爲に他人と共に事をする能力を増す爲。

主題

よく選ばれた種々の玩具や遊び材料を家庭で持つる四歳位の子供は、幼稚園の材料を大層早く用ゐはじめる——模倣的な遊び或は構成的な遊びで——。不幸な位置に居た子供達は不充分であつた遊びと構成的な本能を獎勵する爲に多くの暗示的玩具を要する。例へば前者に屬する家庭から來る子供は殆ど直ぐに學校内の木片で自分の爲に又は人形の爲に、椅子やベッドを造る事に興味をもつが、後者に屬する家庭の子供は人形、おもちゃのベッド、椅子等を持つて遊びをする時を要する又上に暗示した様に木片で實驗する時を要す。

多くの子供の、材料を用ひての自然な構成の遊びは彼等が周圍の成人の活動を模倣したり、再現したりする試みの結果である。下に記載した玩具は、幼

稚園の子供にとつて創造の價値あるものとせられた、社交的置位を暗示し家庭や近隣の活動を代表する遊びへと導き、構成に自然な子供らし働きを興へるように基礎づけられたものである。

玩具

大小の人形。人形の家具。おもちゃの家。おもちゃの動物。おもちゃの器具。

大小の人形は直に子供の心を惹き又は非満足されなければならぬ人類家族の各員を代表する。一年を通じての多くの問題は人形に、家や家具や車や、汽車やステーションや衣類、食物の準備をするといふ事から生じて来る。子供達が人形の家族の必要を充たさうと準備する時に、それと同じ様な必要に彼等自身の家族の人達がした方法を、更に明確に意識する様になる。若し子供達が家を造たり衣服を拵へたりその他種々の事をする爲に各自小さい人形を持って居れば仕事と遊びは目的のあるものとなり又趣味深いものとなる。

人形の家具、ベッド、椅子、テーブル、箆筒、戸棚、車は、木工の處で説明した様に子供達で造る事が出来る。舞臺は室の一隅を使って窓や蝶つがひのあ

る戸の附いた、ついたでしきりをすれば出来る。之は装置の必要な部分といふのではないが構成や家事遊に大層よい動機を造る。

おもちゃの器具は家庭生活に關した遊びを奨励し、子供に構成といふことについての考を暗示する。

おもちゃの動物は家、かこひ、食物其の他のもの必要を暗示し、かくして遊びをする爲に材料と構成の力を供給する。

おほつうの紅緒の足駄が嬉くて

あるいて歸る雨の横

K 子